

令和元年度（2019年度）

社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会

事 業 報 告

令和元年度（2019年度） 社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会 事業報告

目次

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく
組織体制の基盤強化 1
2. 第3期地域福祉活動計画に基づく
重点事業 2

II 事業報告

1. 法人運営事業 5
2. 地域福祉事業の推進 7
3. 相談援助事業の実施 11
4. 住民参加型在宅福祉サービス事業の実施 12
5. 福祉資金貸付事業の実施 12
6. ボランティア事業の推進 13
7. 自動販売機設置経営事業の推進 17
8. 市委託事業の受託経営 17
9. 指定管理事業の受託経営 19
10. その他社協関連事業 26

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく組織体制の基盤強化

(1) 組織体制の強化

◇第28期役員を選任

第27期役員任期満了に伴い、第28期役員を選任を適正に行いました。

◇専門家による財務会計に関する事務処理体制の強化

会計監査人の監査に準ずる監査の実施、並びに、厚労省推奨の専門家による支援のうち、税理士が行う「財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務」及び「税務業務」を実施し、内部統制の強化を図りました。

◇事業評価制度の実施

本会事業の見直し、評価を行い、事業目的の妥当性、事業の有効性や効率性などを検討し、事業の拡張又は改廃や縮小を行いました。

◇委員会機能の充実

本会の業務運営を円滑に行うため、各種委員会機能の見直しや充実を図るとともに、適正な開催に努めました。

(2) 人材育成と専門性の向上

◇職員の目標管理体制の実施

社協職員としての職員個々の成長を促すため、これまでの自分を振り返り、今後の自分の将来を見据えた「今年度の私の成長目標」を全職員が作成し、必要に応じて、職員面談を実施しました。

◇職員研修の充実

復命・伝達研修体制の整備を図り、研修の重複受講及び経費の節減に努めました。

また、人材育成、職場定着のため新規採用職員研修に実地研修を取り入れ、充実を図りました。

(3) 財政基盤の強化

◇税額控除制度を活用した寄付金の増強

朝霞市から税額控除対象法人として認可が下り、会員の加入促進、寄付金の増額を目指し、税額控除制度の周知を行いました。

また、新たに「るくるん募金箱」の設置による寄付金制度を設けました。

なお、本会の地域福祉事業の推進にご賛同いただき、次のとおり、多くの方々より寄付をいただきました。

【寄付金実績報告】

	令和元年度（2019年度）	平成30年度
個人	延べ13件 90,217円	延べ10件 300,885円
団体	延べ30件 589,957円	延べ20件 935,134円
るくるん募金	3か所 26,770円	
合計	706,944円	1,236,019円

※るくるん募金箱設置か所：10か所（令和元年度末現在）

◇社協会員の加入促進

社協活動への理解と参加の促進及び自主財源の確保のため、自治会・町内会、市内外事業所と連携し会員の募集を実施しました。

また、会員会費をはじめとする自主財源が年々減少傾向にある状況を踏まえ、企業等への募集を積極的に行ったほか、新たな会員募集の方法について調査研究を行いました。

(一般会員500円、賛助会員1,000円、特別会員5,000円)

○強化月間：7月1日～7月31日

○目標額：8,000,000円

○実績額：7,564,722円

○加入状況内訳 ※()内は、振込用紙による加入者数で内数

	令和元年度	平成30年度
一般会員	4,047世帯 (3)	3,978世帯 (3)
賛助会員	365世帯 (17)	396世帯 (8)
特別会員	202世帯 (60)	184世帯 (47)
500円未満	1,823世帯	1,951世帯

○社協会員募集説明会

令和元年6月13日 朝霞市総合福祉センター会議室

◇赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動の実施

地域福祉推進の重要な財源の確保のため、自治会・町内会、関係機関・団体と連携し、共同募金運動を実施し、県共同募金会より各募金の配分金を受領しました。

○配分金額

	令和元年度	平成30年度
一般募金配分金	3,476,000円	3,857,000円
歳末たすけあい募金配分金	4,074,000円	4,474,000円

◇収益事業の調査・研究

新事業企画のため、他市の取り組み調査を実施し、事業内容の精査並びに実現可否についての検討を行いました。

また、「アーシャ♥るくるん」を有効活用するための検討を行いました。

2. 第3期朝霞市地域福祉活動計画に基づく重点事業

【プロジェクト①】

支え合い・助け合いの心づくりと仕組みづくり

◇教職員対象の福祉教育研修会の実施

小・中・高等・特別支援学校の教職員や、福祉教育に携わる様々な立場の方を対象に朝霞地区四市福祉教育研修会を実施しました。

(詳細は14ページ参照)

◇ボランティア講座の開催

様々なニーズに応じて、地域で主体となり活動できるボランティアの育成を目的として各種ボランティア講座を実施しました。(詳細は15ページ参照)

◇ボランティア講座参加者の活動支援

地域デビュー講座参加者に対し、参加者同士のつながりや活動意欲を高めるために座談会を開催しました。また、平成30年度に実施した傾聴ボランティア養成講座の修了者に対し、傾聴ボランティアフォローアップ講座を開催しました。
(詳細は15ページ参照)

◇福祉活動団体の周知

市内のふれあい・いきいきサロンの一覧や地域活動の実践者を広報紙に掲載したほか、活動団体のボランティア募集にあたってはボランティアニュースやホームページ、ツイッターを活用して周知を図りました。また、活動団体間の新しい情報交換の場として、市民活動支援ステーションと共催で市民活動団体交流会を開催しました。
(詳細は10ページ参照)

◇地域懇談会の開催

小地域福祉活動の啓発及び取り組みへのきっかけづくりとして、市内5地区で地域懇談会を開催しました。身近な地域での支え合いや助け合いについて意見交換をしたことにより、住民同士のつながりづくりや災害時の助け合いを目的としたイベントの企画・実施が進められたほか、これまで参加が少なかった子ども・子育て世代による懇談会が行われた地区もありました。(詳細は8ページ参照)

◇小地域福祉活動の啓発

小地域福祉活動のチラシを講座や地域懇談会等で配布したほか、小中学生作文コンクールの受賞作品をもとに動画を作成し、社協会員募集説明会で上映しました。また、誰もが動画を見ることができるよう本会ホームページにも掲載しました。

◇福祉活動団体への支援

福祉活動団体への訪問等により団体との関係づくりを継続したことで、団体から相談を受け、支援につなげることができました。また、市の生活支援体制整備事業の推進に協力し、包括支援センター圏域ごとに立ち上がった協議体が複数の新規サロンを立ち上げるにあたり、相談・支援を行いました。

○相談支援を行った団体：ふれあい・いきいきサロン、会食グループ等54団体

○相談支援内容：新規立ち上げ、団体の運営、助成金の案内、スタッフの募集、
新型コロナウイルス感染症への対応等

【プロジェクト②】

安全・安心に暮らせる環境づくり

◇災害ボランティアセンター設置訓練の実施

災害ボランティアセンター設置訓練は隔年で行うため、今年度は予定していませんでしたが、台風19号災害により災害ボランティアセンターを立ち上げた県内社協へ本会職員を派遣しました。(詳細は16ページ参照)

◇災害ボランティア講座の実施

災害ボランティアセンターを立ち上げた小川町社会福祉協議会職員を講師に招き、2月に講座を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の予防対策として中止しました。(詳細は16ページ参照)

◇住民の防犯への意識の啓発

本会事業の登録ボランティアやあんしんサポートねっと事業の生活支援員のほか、福祉有償運送サービス事業運転者を対象とした特殊詐欺についての学習会を行い、声掛けや見守りによる地域防犯力の強化を図りました。また、朝霞警察署との見守りネットワークを生かして地域防犯支援情報を周知したほか、ふれあい・いきいきサロン等、住民の集まる場で防犯の講話を依頼しました。

◇関係機関との連携

各地域で開催している地域懇談会をはじめ、徘徊高齢者声かけ訓練や小学校の地域連携行事などにおいて地域包括支援センターや民生委員児童委員、自治会・町内会、民間事業者、朝霞市等の関係機関と連携し、情報交換等を行いました。また、本会以外の関係機関が主催となる会議体へも積極的に参加し、連携体制の構築を図りました。

○会議体への参加：地域ケア会議、生活支援体制整備事業への協力

【プロジェクト③】

市民の暮らしや活動を支える体制づくり

◇生活再建のための相談支援

生活再建に関する情報を、ホームページや広報紙「社協あさか」に掲載しました。また、生活福祉資金及び本会福祉資金の貸付者に対し償還指導を行い、近況を把握しながら必要に応じて新たな相談支援を行いました。このほか、新型コロナウイルス感染症の影響による生活資金で困っている住民に対して、緊急貸付を行いました。

◇分かりやすい福祉情報の提供

ホームページのほか、迅速かつ若い世代にも情報が届くことを目的として積極的にツイッターによる情報発信を行いました。また、広報紙「社協あさか」のページを増やすことにより、本会の活動及び地域の福祉を身近に感じられるような紙面づくりを行いました。

◇総合相談体制の構築

広報紙「社協あさか」に総合相談窓口の内容と連絡先のほか、貸付制度や日常生活自立支援事業を掲載しました。また、関係諸機関にも本会の総合相談機能について周知を行いました。

◇地区ごとのネットワークづくり

地域懇談会を通じて5つの地域包括支援センターや民生委員児童委員、自治会・町内会、福祉施設、ボランティア団体、民間事業者、朝霞市等とのネットワークの維持・強化を図りました。また、地域ごとに行われている生活支援体制整備事業による協議体やふれあい推進事業等の会議に出席し、新たなネットワークの構築を図りました。

◇ヒアリング調査の実施

地域懇談会において住民及び福祉活動団体等からニーズの聞き取りをしたほか、通年でふれあい・いきいきサロン等の地域で行われている活動に出向き、ヒアリングを行いました。また、従来の住民参加型在宅福祉サービスについては、より住民による主体的な支え合い活動になることを目指し、ボランティア活動者や民生委員児童委員からヒアリングを行い、事業の見直しを図りました。

II 事業報告

1. 法人運営事業

理事会、評議員会等を開催し、事業計画並びに資金収支予算を定め、本会の基幹的業務を計画的に実施しました。

また、ホームページやツイッター等を活用した社協事業のPRや積極的な情報発信を行い、福祉情報をわかりやすく、迅速に提供しました。

また、働き方改革関連法に基づき、職員が安心・安全に業務に従事できるよう魅力ある職場づくりに努めました。

◇理事会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和元年第1回	令和 元年 6月 5日	11人 (監事2人含む)	平成30年度事業報告等 9議案
令和元年第2回	令和 元年 6月20日	8人 (監事1人含む)	会長の選定等 9議案
令和元年第3回	令和 元年 8月27日	9人 (監事2人含む)	補正予算等 6議案
令和2年第1回	令和 2年 3月16日	10人 (監事2人含む)	令和2年度事業計画等 8議案(同意書による決議の省略)

◇評議員会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和元年第1回	令和 元年 6月19日	15人	平成30年度事業報告等 4議案
令和元年第2回	令和 元年 6月27日	12人	補正予算 1議案
令和元年第3回	令和 元年10月 8日	20人	補正予算 1議案 (同意書による決議の省略)
令和2年第1回	令和 2年 3月30日	20人	令和2年度事業計画等 4議案 (同意書による決議の省略)

○正副会長会議

適宜開催し、理事会・評議員会提出議案等について協議を行いました。

・開催回数：2回

◇各種委員会等の開催

○総務・財政委員会

- ・第1回：令和元年 5月30日 (出席者5人)
令和元年度社協会員の募集について
広報紙「社協あさか」7月号の編集発行について
- ・第2回：令和元年 8月30日 (出席者3人)
広報紙「社協あさか」10月号の編集発行について 等
- ・第3回：令和元年11月29日 (出席者4人)
広報紙「社協あさか」1月号の編集発行について
令和元年度社協会員募集の進捗状況について
- ・第4回：令和2年 2月26日 (出席者3人)
広報紙「社協あさか」4月号の編集発行について
令和元年度社協会員募集の進捗状況について
令和元年度助成金交付事業の実施について
地域福祉活動助成金交付要綱の改正について
令和2年度社協会員募集チラシについて

○企画委員会

- ・第1回：令和元年10月21日 (出席者5人)
ほんちょう児童館について
事務事業評価について
福祉有償運送事業の終了について
リフト付き自動車貸出事業の終了について
(仮称) ふれあいおたすけ事業の概要について

○評議員選任・解任委員会

- ・第1回：令和元年 9月10日 (出席者5人)
第27期社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会評議員の選任について

◇決算監査・中間監査の実施

- 決算監査：令和元年 5月29日
平成30年度業務監査及び会計監査
- 中間監査：令和元年11月14日
令和元年度上半期の業務監査及び会計監査

◇社協発展・強化計画の推進

本会の使命である、『誰もが安心して暮らせる福祉のまち「あさか」の実現』に向けて、経営理念及び運営方針に基づき事業を展開、実施しました。
また、第2期の計画策定に向けて検討を進めました。
(詳細は1ページ参照)

◇広報紙「社協あさか」の発行及びホームページ等情報ツールの管理

広報紙の定期発行による情報発信とツイッターやホームページ等のSNSを活用した、迅速かつ積極的な情報発信に努めました。

- 広報紙「社協あさか」の発行
 - ・年4回【7月・10月・1月・4月（各1日発行）】
 - ・配布先：市内各世帯（町内会自治会、公共施設等）
 - ・発行部数：35,500部/回

○情報発信

	令和元年度	平成30年度
ツイッター	823件	868件
フェイスブック	623件	233件

◇職員研修の実施

研修計画に基づき、階級や年齢に応じた研修を実施、受講しました。

また、社協発展・強化計画と連動・連携し、人材育成や法令順守、社協職員としてのスキル向上を図るため、内部、外部を問わず幅広い研修に参加し、研修終了後の振り返りや遠研修を行うなど、組織力の向上につながりました。

2. 地域福祉事業の推進

地域で支え合える仕組みがつくれるよう、住民の方々と一緒に取り組みを行うとともに、地域で活動している団体に対し幅広い助成を行うことで、地域の活動支援を行いました。

◇社協会員の募集

誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指し、住民参加による地域福祉事業を推進するため広く募集を行いました。（詳細は2ページ参照）

◇小地域福祉活動の啓発・活動支援

地域の交流が深まり、住民が主体となって、より身近な地域で支え合う仕組みづくりを目的に、地域懇談会やサロン交流会、地域防災イベント等の住民が集まる機会に小地域福祉活動のチラシを活用しながらその効果を説明し、啓発を図りました。

○啓発資材：「はじめてみませんか ご近所でふくし」

○啓発人数：494人

このほか、住民組織である自治会・町内会に対し、地域の発展と住民の福祉向上を図ることを目的として、前年度の赤い羽根共同募金と社協会員会費実績額の20%を助成しました。

	令和元年度	平成30年度
交付先	自治会・町内会 61団体	自治会・町内会 63団体
助成金額	2,325,960円	2,313,630円

◇地域懇談会を通しての住民ニーズの把握

誰もが地域で孤立せず、つながりを持つことができるよう、住民自らが地域の課題や自分たちができることを話し合う場として、市内を大きく5地区に分けて実施しました。ご近所の住民との関係性の希薄化や災害発生時の助け合い等、安全・安心な暮らしを続けるために必要なことを話し合いました。その結果、顔見知りの関係づくりを目的とした異年齢交流事業や防災訓練等を取り入れた地域懇談会の実施に至りました。

○期 日：令和元年4月から令和2年2月（全25回）

○場 所：栄町市民センター・町内会館、根岸台市民センター、泉水放課後児童クラブ他

○内 容：地域の福祉課題について意見交換、防災訓練・防災グッズ工作、地域イベントの検討・実施等

○参加者：延べ392人

◇第3期地域福祉活動計画の進行・管理

地域福祉活動計画の基本理念・行動目標に基づき、進行の管理を行うとともに、各事業の充実を図りました。（詳細は2～5ページ参照）

【第3期地域福祉活動計画推進・評価委員会】

第3期地域福祉活動計画の進捗状況や今後の取り組みについて委員会に諮り、さらなる計画の推進を図ることを目的に開催しました。

	期 日	場 所	出席者
第1回	令和元年7月23日	朝霞市総合福祉センター	10人
第2回	令和2年3月25日（中止）		

※第2回は新型コロナウイルス感染症の予防対策として開催を中止とし、書面にて意見を求める方法に変更しました。

【地域福祉活動計画職員報告研修会】

5地区それぞれの活動状況や情報を報告・共有することで、今後の各地区の活動活性化を図りました。また、活動計画と日々の業務との関連性について職員間で意見交換をすることで、計画推進に臨む姿勢を高めることを目的に開催しました。

	日 時	場 所	参加者
第1回	令和元年9月4日 10時～	朝霞市総合福祉センター	78人
第2回	令和元年9月4日 18時～	朝霞市総合福祉センター	61人
			合計139人

○オブザーバー：推進・評価委員会委員長 東洋大学 渡辺 道代 氏

○内 容：DVD視聴（住み慣れたまちで暮らしていくために）、推進・評価委員会の評価及び提言報告、グループワーク、総評等

◇第4期地域福祉活動計画の策定

社協が策定する地域福祉活動計画は、市が策定する地域福祉計画と内容の一部を共有し、さらには地域福祉計画の実現を支援するための施策を盛り込むなどの連携を図ることが求められていることから、協働で策定を進めています。

【朝霞市地域福祉計画推進委員会】

地域福祉活動計画の策定及び推進に関し必要な事項を福祉計画と一体的に審議するため、朝霞市地域福祉計画推進委員会の理解を得て、同様の構成員による朝霞市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

	期 日	場 所	出席者
第1回	令和元年 7月 5日	朝霞市役所	14人
第2回	令和元年 8月 2日	朝霞市総合福祉センター	16人
第3回	令和元年11月12日	朝霞市役所	14人
第4回	令和2年 2月18日	朝霞市民会館	10人

【地域懇談会】

朝霞市と協働で第4期朝霞市地域福祉計画及び第4期朝霞市地域福祉活動計画を策定するための、地域懇談会「朝霞の『ふくし』を考えてみませんか」を開催しました。

	期 日	場 所	参加者
第1回	令和元年12月12日	朝霞市産業文化センター	24人
第2回	令和元年12月13日	根岸台市民センター	32人
第3回	令和元年12月14日	朝霞市総合福祉センター	41人
第4回	令和元年12月16日	膝折市民センター	33人
第5回	令和元年12月18日	北朝霞公民館	31人
第6回	令和元年12月19日	ほんちょう児童館	32人
			合計193人

○内 容：懇談会の趣旨や朝霞市の現状を具体的な統計情報を用いての説明、テーマ別にグループワークの実施等

【策定に係わる職員研修会】

地域福祉活動計画の今後の推進において、「我が事・丸ごと地域共生社会の実現」のために社協職員としてやるべきことの学びを深め、資質の向上を図ることを目的に、『第4期地域福祉活動計画の策定に係わる職員研修会』を実施しました。

- 期 日：令和2年2月5日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター
- 講 師：文京学院大学 人間学部人間学科 中島 修准教授
- 対 象：朝霞市社会福祉協議会役職員及び朝霞市役所職員
- 参加者：103人

◇地域福祉活動団体との連携・活動支援

市民活動支援ステーションと共催で市民活動団体交流会を開催しました。このほか、サロン交流会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の予防対策として中止しました。

【市民活動団体交流会】

- 期 日：令和元年7月7日
- 場 所：中央公民館コミュニティセンター
- 参加者：43人

【サロン活動者交流会】 ※予定していた日程、場所

- 期 日：令和2年3月14日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター

◇地域福祉活動団体等への助成

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループや福祉団体等に対して、運営にかかる費用の助成を行いました。

○地域福祉活動（運営費）助成金

	令和元年度	平成30年度
団体数	56団体	52団体
助成金額	1,985,000円	1,907,000円

○地域福祉活動（事業費）助成金

	令和元年度	平成30年度
団体数	17団体	12団体
助成金額	499,613円	336,908円

○歳末援護金

	令和元年度	平成30年度
団体数	46団体	50団体
助成金額	1,279,414円	1,433,700円

◇社協出前講座のメニューの充実及び周知・啓発（広報紙等）

住民の学習機会の拡充と社協への理解を深めるため、民生委員児童委員協議会や福祉団体等からの依頼により、「社協について」や「車いす体験・ガイドヘルプ」等、身近な福祉の情報を交えた講座を職員が講師となり実施しました。

また、出前講座のメニュー一覧を作成し、「朝霞社協まるわかり帳」に掲載しました。

	令和元年度	平成30年度
実施回数	32回	27回

◇余暇支援・交流事業（障害児・者）の実施

【知的障害者スポーツレクリエーション】

○対象者：18歳以上の知的障害者

○期 日：令和元年6月8日～令和2年2月8日 全8回

○場 所：朝霞市総合福祉センター アリーナ

○参加者：

	人数	内訳
令和元年度	延べ173人	障害者144人、ボランティア29人
平成30年度	延べ213人	障害者189人、ボランティア24人

3. 相談援助事業の実施

(1) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の推進（県社協委託事業）

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預りサービスの援助を行いました。

	令和元年度	平成30年度
生活支援員	5人	5人
活動日数	延べ176日	延べ119日
相談件数	延べ610件	延べ735件
利用契約者	11人（認知症高齢者3人、知的障害者5人、精神障害者2人、その他1人）	10人（認知症高齢者4人、知的障害者5人、その他1人）

◇事業の周知啓発

社協内情報コーナーにパンフレットの設置、並びにホームページにサービス案内を掲載し、事業の周知を図りました。

◇生活支援員研修会の実施（ふれあいサービス協力員研修会と合同開催）

近年手口が巧妙化している消費者被害を未然に防ぐために、埼玉県朝霞警察署生活安全課の担当者を講師に招き、特殊詐欺の手口と最近の傾向について理解を深めました。また、介護予防体操や新規事業の説明を行いました。

○期 日：令和元年6月1日

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○参加人数：18人（内訳：生活支援員3人、ふれあいサービス協力員15人、福祉有償運送事業協力員5人 重複者あり）

(2) 総合相談支援体制

相談、問い合わせに対し傾聴し、適切な関係機関につなげるとともに、社協内の各部署と連携、情報共有を図り、迅速かつ相談内容に的確に対応できる体制づくりに努めました。
○相談件数：23件（高齢者・障害者・子育て関係、引きこもり、生活困窮、権利擁護等）

(3) 福祉機器・車いす専用リフト車の貸出し

○車いす：56件（外出・通院等）

車いすを外出・通院等の支援として貸出ししました。

	令和元年度	平成30年度
貸出回数	56件	48件

○車いす専用リフト車（令和2年3月末で事業終了）

車いす専用リフト車3台を外出支援として貸出ししました。

	令和元年度	平成30年度
貸出回数	延べ27回	延べ26回

4. 住民参加型在宅福祉サービス事業の実施

(1) ふれあいサービス事業

住民の参加と協力により、高齢者や障害者、子育てなどで日常生活上の支援を必要とする方に対し、有償の家事援助、外出援助、子育て支援等を行いました。

	登録利用者	登録協力員	派遣協力員	延べ派遣日数	延べ派遣時間数
令和元年度	58人	74人	28人	769日	1,132.5時間
平成30年度	68人	66人	43人	964日	1,490.0時間

◇ふれあいサービス協力員研修会（福祉有償運送事業・生活支援員研修会と合同開催）
内容については前記生活支援員研修会参照

(2) 福祉有償運送事業（令和2年3月末で事業終了）

車イス利用者等身体的理由により、移動困難者の社会参加を促進し、在宅福祉の増進を図るため、福祉車両を使用し有償ボランティアの協力を得て移送サービスを提供しました。

	登録利用者	登録協力者	運送回数	運送人数
令和元年度	3人	8人	延べ58回	延べ58人
平成30年度	8人	10人	延べ92回	延べ92人

◇福祉有償運送事業協力員研修会（ふれあいサービス・生活支援員研修会と合同開催）
内容については前記生活支援員研修会参照

5. 福祉資金貸付事業の実施

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

支援を必要とする低所得者世帯及び療養や介護を要する高齢者・障害者世帯等に必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、訪問による償還指導を行いました。

○貸付相談：延べ92件（平成30年度 延べ87件）

○貸付件数：1件（平成30年度 6件）

○償還指導：16件（平成30年度 16件）

(2) 社協福祉資金貸付事業

臨時的な出費や応急的な資金を必要とする低所得者世帯に対し、必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、訪問による償還指導を行いました。

○貸付相談：延べ 9件（平成30年度 11件）

○貸付件数： 2件（平成30年度 1件）

○償還指導： 12件（平成30年度 10件）

(3) コロナウイルスによる生活福祉資金による特例貸付

生活福祉資金について、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金にお悩みの方々に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を3月25日から実施しました。

○貸付相談： 66件

○貸付件数： 11件

(4) 彩の国あんしんセーフティネット事業の支援

福祉資金貸付事業（生活福祉資金貸付事業及び社協福祉資金貸付事業）にて相談のあった世帯のうち、緊急の支援が必要な世帯に対して、彩の国あんしんセーフティネット事業の支援員と連携して対応しました。

	令和元年度	平成30年度
福祉資金貸付事業相談	延べ92件	延べ87件
上記のうち、セーフティネット事業による支援	0人	2人

6. ボランティア事業の推進

◇ボランティア相談及びコーディネート

ボランティアの活動状況（ボランティア保険加入状況より）

	令和元年度	平成30年度
個人	84人	93人
団体	611人（41団体）	743人（56団体）

○相談件数

	令和元年度	平成30年度
相談件数	延べ78件	延べ66件
コーディネート件数	延べ78件	延べ20件

○団体利用室利用状況

	令和元年度	平成30年度
登録団体	25団体	27団体
利用件数	延べ62件	延べ105件

○録音室利用状況

	令和元年度	平成30年度
利用団体	2団体	2団体
利用件数	延べ60件	延べ80件

◇ボランティア情報の収集、発信（ボランティアニュースの発行等）

○ボランティアニュース

ボランティアセンターの活動やボランティアに関する情報、取り巻く状況等をボランティアや関係団体、地域住民に理解してもらうために発行、配布しました。

・発行回数：年3回（7、2、3月/1回2,000部）

○ボランティアセンターガイドブック

ボランティアセンターの周知啓発を行う際の資料として、現在のボランティアセンターの活動状況に合わせた内容を冊子にすることで、よりボランティアに興味を持ってもらうことを目的に作成しました。

・発行部数：2,000部

◇朝霞地区四市福祉教育研修会の開催（朝霞市・和光市・新座市・志木市社協）

校長会や教頭会にて朝霞地区四市福祉教育研修会の周知を図り、研修会では福祉体験や当時者の講演を実施しました。研修の最後には朝霞市内の参加者で福祉教育について情報交換会を行いました。また、福祉教育協力ボランティアを育成するため、講座を開催しました。

○対象者：四市内で福祉教育に関わっている教職員及びボランティア

○期 日：令和元年7月31日・8月1日

○場 所：朝霞市総合福祉センター（当番市 朝霞）

○内 容：当事者講演、福祉体験（車椅子、アイマスク、手話、ボッチャ）

○参加者：

	令和元年度	平成30年度
四市合計	延べ137人	延べ102人
朝霞市内	延べ 39人	延べ 12人

◇福祉教育の支援、充実

市内小学校における福祉教育のコーディネート・支援、福祉体験教室等を行いました。

○依頼件数：

	令和元年度	平成30年度
延べ件数	51件	32件
小学校	10校+中学校2校	10校+中学校1校

○内 容：体験学習（車いす・ガイドヘルプ・手話・点字・ボッチャ）
講演「視覚障害者への理解」

○福祉教育用機器貸出件数：30件（車いす・アイマスク・点字盤・ボッチャ等）

◇地域福祉活動の担い手の育成

ボランティアとして活動したい人を対象に講座を開催し、ボランティアについての理解を深めていただき、実際に活動者として活躍してもらえよう支援することを目的に実施しました。（詳細は次項参照）

◇ボランティア講座の開催及び活動者の支援

【東洋大学での講座】

- 対象者：東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科の学生
- 期 日：令和元年10月14日
- 場 所：東洋大学 朝霞キャンパス講義棟
- 内 容：朝霞市社会福祉協議会 ボランティアセンターの活動について

【傾聴ボランティアフォローアップ講座】

傾聴の基礎を確かめながらスキルアップを目指すことを目的に開催しました。

- 対象者：傾聴ボランティア養成講座を受講し、活動を始めて2年未満の方
傾聴ボランティア養成講座を受講し、活動に結び付いていない方
- 期 日：令和2年2月8日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター
- 参加者：16人

【青少年ボランティア講座】

- 期 日：令和元年11月3日・4日
- 場 所：東洋大学 朝霞キャンパス
- 内 容：るくるんと写真撮影、るくるんの塗り絵、ポッチャ体験
- 参加者：150人（小・中・高・大学生・保護者等）

【地域デビュー！ボランティア講座】

これまでボランティア活動に触れたことのない方や退職後の方、元気な高齢者等が、地域活動に参加するきっかけとなることを目的に開催しました。

- 期 日：第1弾 令和元年8月6日・21日、9月7日・19日・27日
第2弾 令和元年11月6日・21日・29日・12月2日・14日
- 場 所：朝霞市内市民センター等 10箇所
- 内 容：助け合い体験カードゲーム、活動者の体験談発表、高齢者疑似体験
- 参加者：76人

【地域デビュー！ボランティア講座 座談会】

参加者の活動意欲を向上し、参加者同士のつながりを目的に座談会を開催しました。

期 日	場 所	参加者
令和元年11月24日	朝霞市総合福祉センター	13人
令和2年 1月19日	朝霞市総合福祉センター	10人

◇ボランティア体験プログラムの実施

子どもから大人まで誰もが気軽に参加できる体験メニューを用意し、ボランティア参加のきっかけづくりを目的に実施しました。

- 対象者：市民及び近隣のボランティア活動体験希望者
- 期 間：令和元年5月～2月（強化月間7・8月）
- 場 所：市内各福祉施設等
- 内 容：保育園、福祉施設等の19メニューの中から体験学習
- 参加者：延べ174人（平成30年度 延べ246人）

◇災害ボランティアセンター設置訓練の実施

災害ボランティアセンター設置訓練は隔年で行うため、今年度は予定していなかったが、台風19号災害により災害ボランティアセンターを立ち上げた県内社協へ本会職員を派遣しました。

○派遣先：①川越市社会福祉協議会 ②小川町社会福祉協議会

○期 日：①令和元年10月18日～23日 2人

②令和元年10月21日～27日 2人

○内 容：被災場所の確認作業、災害ボランティアセンターの運営補助

◇災害ボランティア講座の実施

災害ボランティアセンターを立ち上げた小川町社会福祉協議会職員を講師に招き、講座を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の予防対策として中止しました。※下記は予定していた期日、場所、対象

○期 日：令和2年2月29日

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○内 容：①災害ボランティアセンターを立ち上げた経緯、設置後の対応

②クロスロードゲーム

○対象者：市民、本会職員

◇ふれあい・いきいきサロンデビュー講座の実施

地域の支え合いの場作りの方法である、ふれあい・いきいきサロンの活動を発展させるための協力者を養成することを目的に実施した前回講座の振り返りと、今後の活動について情報交換をしました。

○対象者：平成31年3月に開催した講座の参加者

○期 日：令和元年7月19日

○場 所：日生オアシス朝霞

○内 容：前回の講座振り返り、今後の活動について情報交換

○参加者：4人

◇住民参加型生活支援事業に係るボランティア育成及び体制整備

ホームクリーニング事業とふれあいサービス事業を統合し、より拡充させた新事業として開始するための準備として、民生委員など関係者からの意見聴取、事業名称の検討、新しい仕組みの検討等を行いました。また、協力会員育成のため、地域デビュー!ボランティア講座を開催しました。

【民協定例会での意見聴取】

○対象者：各地区の民生委員

○期 日：令和元年5月7日～14日

令和2年3月3日（東部地区のみ。他地区は新型コロナウイルス感染症の予防対策として中止）

○場 所：朝霞市役所、他

7. 自動販売機設置経営事業の推進

◇自動販売機設置経営事業

収益金を地域福祉の増進に役立てるため、自動販売機設置経営事業を実施しました。また、新規飲料用自動販売機の設置に向けて調査や交渉等を行いました。

○自動証明写真機：1台（市役所庁舎）

収益金：173,946円

○小型玩具自動販売機（ガチャガチャ）：2台（朝霞市総合福祉センター）

収益金：78,190円

○飲料用自動販売機：3台（テイ・エステック（株）、JAあさか野）

収益金：51,431円

○収益金：合計303,567円（平成30年度 297,285円）

8. 市委託事業の受託経営

(1) 手話通訳者等派遣事業

手話を必要とする聴覚障害者等の生活におけるコミュニケーションの円滑化、社会参加の促進を図るため手話通訳者の派遣を行いました。

	令和元年度	平成30年度
依頼件数	650件	574件
派遣件数	603件 (個人399件・自治体57件・学校56件・団体91件)	546件 (個人364件・自治体51件・学校52件・団体79件)
派遣人数	延べ734人 (専任延べ291人・登録延べ426人・他機関派遣協力17人)	延べ696人 (専任延べ310人・登録延べ368人・他機関派遣協力18人)

◇手話通訳者の育成

手話講習会	期 日	受講者	講 師	アシスタント
入門	令和元年 5月 ～10月	16人	森永 慶子氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル 「あじさい」
基礎	令和元年10月 ～令和2年3月	15人	森永 慶子氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル 「あじさい」
中級	令和元年5月 ～10月	26人	高島 良宏氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル 「あじさい」
養成・前半	令和元年10月 ～令和2年3月	6人	越後 節子氏 (埼玉県聴覚障害者協会)	専任手話通訳者

◇朝霞市登録手話通訳者試験

○期 日：令和元年12月7日

○受 験 者：0人

◇手話体験会

○期 日：令和元年8月（全4回）

○講 師：朝霞市聴覚障害者協会

○アシスタント：あさか手話サークルあじさい

○受 講 者：24人（うち修了者19人）

◇朝霞市（手話通訳者等派遣事務所）主催講演会

- 期 日：令和2年2月15日
- 講 師：早瀬憲太郎氏・久美氏（デフリンピック自転車競技日本代表）
- 講演テーマ：「世界最高峰のスポーツの祭典“デフリンピック”」
- 参加者：111人

◇要約筆記（PC）体験会

- 期 日：令和2年3月7日
- 講 師：手話通訳問題研究会（要約筆記者班）
- 受講者：3人

(2) 一般介護予防事業

市内の65歳以上の方を対象に、高齢になっても健康的に生きがいをもって地域の様々な活動の場に参加できるよう、介護予防に効果のある体操の指導や運動機能向上を目指した一般介護予防事業に取り組みました。

なお、ノルディック・ウォーク教室から自主グループが2つ立ち上がり昨年度と合わせて7つのサークルが地域で活動しています。各自主サークルへ介護予防情報やノルディック・ウォークに関連した情報を提供しサークル活動の継続サポートを行っています。

また、地域住民同士で支えていく介護予防ボランティアの育成を目的とした健康体操養成講座を実施。講座終了後、受講者が自主グループを立ち上げ、市内の介護施設やサロンで介護予防体操を実践したり、朝霞市老人クラブ連合会主催のバンパードゲーム大会や球技大会等の準備体操で活躍しました。

令和元年度	回数	延べ人数
ノルディック・ウォーク教室 (体験教室含む)	2クール全20回 4月クール全10回 10月クール全10回 ※4月クール地域包括支援センターひいらぎの里共催 ※10月クール地域包括支援センター朝光苑共催	321人
ノルディック・ウォーク フォローアップ教室	1回7月	32人
健康体操養成講座	4月～7月 全 6回	86人
自力整体教室	9～12月 全 6回	77人
健康太極拳教室	10～2月 全10回	305人
健康相談 (浜崎、溝沼老セン、老人クラブ、サロン)	月 2回 ※老人クラブの依頼にて随時実施	528人
他部署協働（出前講座等）	※随時実施	232人
講座（口腔・栄養・運動器）	2月 全 3回	39人

9. 指定管理事業の受託経営

(1) 朝霞市総合福祉センター指定管理事業

【朝霞市総合福祉センター管理】

地域福祉の向上を図るため、各種の福祉サービスや情報、活動の場を提供する複合施設の建物・設備・備品の総合管理を行いました。

	令和元年度	平成30年度
開館日数	251日	290日
共用施設利用状況	689件	768件
利用人数	延べ8,024人	延べ9,556人

※共用施設：集会室、社会適応訓練室、調理実習室、介護者教育室)

○消防訓練の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、訓練を実施し技術の向上を図りました。

- ・第1回 令和元年 9月20日 参加者：141人 (火災想定)
- ・第2回 令和2年 2月18日 参加者：130人 (水害想定)

○はあとびあふれあい祭り

朝霞市にイベントの中止を求める内容の郵便物が届いたため、朝霞市の指示により中止としました。

【はあとびあ福祉作業所】

障害者総合支援法に基づき、生活介護における入浴、日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練等、多機能型施設としてのサービスを提供しました。

①開所日：月曜日～金曜日

②利用者数（年度末）

	令和元年度		平成30年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	36人	35人	36人	38人
就労継続支援B型	44人	31人	44人	33人
合計	80人	66人	80人	71人

③通所状況

送迎サービスの他、自転車、徒歩等による自主通所

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業

令和元年度		平成30年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
20社 社協2部署	2,410,790円	18社 社協5部署	2,355,402円	食品容器シール貼り、熱処理部品スプリング通し、封入封緘、タオル・入浴剤箱詰め、靴下ストック返し作業、市内幼稚園の園内清掃、コンビニ景品封入れ等

○社会参加活動

児童館祭り喫茶参加、自主製作品展示販売会、地域サロン活動への参加

⑤花壇植栽管理整備事業（市委託事業）

ふれあい花壇、朝霞駅南口広場花壇、朝霞市役所庁舎内プランターの植栽、灌水、除草、清掃等の管理整備

令和元年度		平成30年度	
業務内容	売上	業務内容	売上
ふれあい	4,610,520円	ふれあい	4,610,520円
朝霞駅南口広場	877,450円	朝霞駅南口広場	869,400円
朝霞市役所庁舎内	55,000円	朝霞市役所庁舎内	129,600円

⑥喫茶室「お花畑」の運営（毎週火曜日～金曜日）

令和元年度			平成30年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
185日	3,448人	1,964,420円	200日	3,697人	2,423,650円

⑦売店「はっぴい」の運営（毎週火曜日～金曜日）

令和元年度			平成30年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
179日	6,886人	4,349,567円	188日	8,690人	5,042,551円

○出張販売：市役所、地域包括支援センターモーニングパーク等に出店

⑧カフェ・売店「ル・クール」の運営（毎週月曜日～金曜日）

令和元年度			平成30年度		
営業日数	利用者数	売上(委託金含)	営業日数	利用者数	売上(委託金含)
231日	11,358人	1,240,775円	219日	13,972人	1,370,340円

※あさか福祉作業所と合同で運営しているため、売上（委託金含）は、あさか福祉作業所と折半

⑨主な年間行事

保護者懇談会及び個別面談、日帰り課外体験研修、彩夏祭「鳴子踊り」、消防訓練、ふれあいスポーツ大会等

⑩保健衛生

利用者健康診断、精神科健診、歯科検診、成人病予防事業

⑪ボランティアの受入

○受入人数：延べ113人

○活動内容：売店及び喫茶、利用者の作業見守り等

【はあとびあ障害者就労支援センター】

市内在住の障害のある方やその家族、また関係する事業所、施設、教育、医療機関等を対象に、障害のある方の就労支援と生活支援を総合的に行うことにより、一般就労の拡大を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に支援を行いました。

平成29年度から引き続き、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとびあ及びふれあい障害者相談支援センターとの合同会議を開催しました。また、関係機関との連携強化のため、講師を招いての研修会には周辺4市の関係機関まで広く周知し、各関係機関との関係構築を図りました。

○登録者数：318人（新規登録者34人）

（身体36人・知的96人・精神177人・その他9人）

○就職者数：41人（平成30年度47人）

○就職先の主な職種

職種	身体障害	知的障害	精神障害	その他
事務	2人	2人	15人	
清掃	1人	5人	1人	
軽作業		8人	6人	
システムエンジニア			1人	
計	3人	15人	23人	0人

○事業所・関係機関との連携

新規事業所開拓	24件 (平成30年度41件)	雇用相談	延べ 1,142件 (平成30年度延べ1,142件)
調査研究・普及啓発	延べ22件 (平成30年度延べ38件)	関係機関との連携	延べ 1,227件 (平成30年度延べ1,586件)

○余暇支援事業

【朝霞市ふれあいスポーツ大会】

- ・期 日：令和元年9月28日
- ・場 所：朝霞市総合体育館
- ・参加者数：8人

【はあとびあ障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう身体状況、環境等に応じて、利用者及びその保護者からの相談に対し、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

令和元年度も、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとびあ及びふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、障害者就労支援センターを含めた合同会議を開催しました。外部講師を招いて行う研修会では、周辺4市の障害者事業所にとどまらず、高齢者事業所にまで広く周知し8050問題を見据えた、各関係機関との関係構築を図りました。

また、はあとびあ福祉作業所とあさか福祉作業所の計画相談を利用されている保護者を対象に、バスでの施設見学会を開催しました。それにより施設についての情報提供等広く周知することが出来ました。

<基本相談>

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
令和 元年度 登録者	27人	79人	238人	16人	360人
相談件数	210件	664件	517件	206件	1,597件
平成30年度 登録者	53人	116人	161人	28人	358人
相談件数	84件	325件	284件	94件	787件

<計画相談>

	障害者契約者数	障害児契約者数	合計
令和 元年度契約者数	115人	53人	168人
平成30年度契約者数	117人	45人	162人
支援内容	◇福祉についての情報提供・総合的相談。 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明・紹介・仲介。 ◇福祉事務所、児童相談所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携。 ◇療育相談（発達に心配のある子どもに関すること）。 ◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援。 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援。 ◇権利擁護に関する支援等。		

(2) 朝霞市老人福祉センター指定管理事業

60歳以上の高齢者が健康で明るい生活を営むための一助として、各種の相談や教室を開催しました。

○利用状況

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
開館日数	254日	293日	270日	292日
年間利用者数	46,100人	59,621人	62,780人	71,513人
1日平均利用者数	181人	203人	233人	245人
個人利用者数	38,196人	50,305人	56,172人	63,839人
団体利用者数	2,201人	2,649人	2,403人	2,457人

○高齢者健康相談

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
実施日数	月1回	月1回	月1回	月1回
相談件数	250件	113件	214件	159件

(3) 朝霞市児童館指定管理事業

児童が健全な遊びを通して健康を増進し、情操を豊かにすること等を目的に実施しました。また、新たに「ほんちょう児童館」の指定を受けました。

○利用状況

児童館名	開館日数		年間利用者数		1日平均利用者数	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
きたはら	172日	290日	21,791人	36,951人	127人	127人
はまさき	254日	293日	28,911人	35,066人	114人	120人
みぞぬま	289日	292日	55,520人	57,442人	192人	197人
ねぎしだい	287日	293日	29,984人	36,295人	104人	124人
ひざおり	283日	290日	33,138人	40,775人	117人	141人
ほんちょう	119日	—	22,712人	—	191人	—
合計	—	—	192,056人	206,529人	—	—

※ほんちょう児童館：令和元年10月30日開館

○主な年間事業

幼児・児童事業、交流事業、工作事業、合同事業、館外事業、調理事業、夏まつり、クリスマス会、春まつり【中止】、ランドセル来館事業等

※春まつりは、新型コロナウイルスの感染予防対策のため中止しました。

(4) 朝霞市放課後児童クラブ指定管理事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している1年生から6年生の児童に対し、授業の終了した放課後及び夏・冬・春休み・土曜日等の学校休業日に放課後児童クラブにおいて家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

また、令和2年3月4日から、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休校時の放課後児童クラブ臨時1日保育を実施しました。

○放課後児童クラブの状況

クラブ名	定員		在籍数(年度当初)		延べ児童数	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
本町	115人	115人	112人	106人	1,334人	1,292人
朝志ヶ丘	150人	150人	160人	158人	1,782人	1,813人
岡	122人	122人	121人	119人	1,403人	1,370人
膝折	130人	130人	104人	100人	1,072人	1,144人
栄町	135人	135人	122人	170人	1,418人	1,784人
浜崎	148人	148人	148人	146人	1,714人	1,733人
泉水	125人	125人	149人	162人	1,668人	1,868人
幸町	98人	98人	97人	120人	1,104人	1,285人
根岸台	80人	80人	80人	66人	840人	691人
溝沼	140人	140人	138人	137人	1,523人	1,477人
合計	1,243人	1,243人	1,231人	1,284人	13,858人	14,457人

○主任会議・指導員会議の開催 1回/月

○主な年間事業

お誕生会、調理実習、季節の行事、伝承遊び、あそびンピック(10クラブ統一事業)等

(5) 朝霞市障害者ふれあいセンター指定管理事業

【朝霞市障害者ふれあいセンター あさか福祉作業所】

ふれあいセンターの設備・備品の管理、建物の総合管理を行うとともに、障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スヌーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練、就労移行支援における一般就労に向けた訓練や企業見学・実習等のサービスを提供しました。

また、3月に施設と地域との交流を目的とした新規事業「障害者ふれあいセンターまつり（ふれあいマルシェ）」の準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。

①開所日：月曜日～金曜日

②利用者数(年度末)

サービス	令和元年度		平成30年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	15人	11人	15人	11人
就労移行支援	8人	2人	8人	1人
就労継続支援B型	37人	30人	37人	33人
合計	60人	43人	60人	45人

③通所状況

送迎サービスの他、路線バス、自転車、徒歩等による自主通所
(就労移行支援事業は自主通所のみ)

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業等

令和元年度		平成30年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
14社 社協1部署	3,137,083円	16社 社協1部署	4,251,855円	プラスチック部品組立、機械用オイル詰め・箱入れ作業、線香箱詰め、マグネット製品の箱詰め、老人施設シート交換、洗濯物たたみ、資材梱包等

○パンの製造販売

【こんがりパンの店「フレア」】

令和元年度		平成30年度		主な販売場所
販売回数	売上	販売回数	売上	
190回	4,301,634円	169回	3,665,792円	フレア店頭、浜崎農産物直売所、老人福祉センター、市ブース販売、イベント販売等

○カフェ・売店「ル・クール」の運営（毎週月曜日～金曜日）

令和元年度			平成30年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
231日	11,358人	1,240,775円	219日	13,972人	1,370,340円

※はあとびあ福祉作業所と合同で運営しているため、売上（委託金含）は、はあとびあ福祉作業所と折半

○社会参加活動等

自主製作品展示販売会、赤い羽根共同募金（街頭募金）、周辺地域の清掃活動等

⑤就労支援（就労移行支援事業）

一般就労に向けて実施した作業訓練や企業見学・実習を通し、利用者1人が就労しました。

○企業見学：3回（特例子会社、就労継続支援A型事業所、就労移行支援事業所）

○企業実習：1回（特例子会社）

○就職者数：1人（特例子会社）

○定着支援：14回

⑥主な年間行事

保護者懇談会及び個別面談、日帰り課外体験研修、彩夏祭「鳴子踊り」、音楽療法、ふれあいスポーツ大会（市主催）、消防訓練、障害者ふれあいセンターまつり（ふれあいマルシェ）【中止】等

⑦保健衛生

利用者健康診断、精神科健診、歯科検診、成人病予防事業等

⑧ボランティア・実習生等の受入れ

○受入人数：延べ5人（介護等体験）

○内 容：利用者との交流、作業やレクリエーションへの参加

⑨ふれあいセンターの管理運営

○消防訓練（避難・消火・通報）の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、あさか福祉作業所利用者を対象に避難訓練等を実施しました。また、第1回目の起震車を使用した地震体験訓練には、地域の方も参加していただき、地域住民との関係性を深めることができました。

・第1回 令和元年9月30日

参加者：63人（利用者37人・職員24人・地域関係者2人）

・第2回 令和2年3月2日

参加者：59人（利用者35人・職員24人）

【ふれあい障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、利用者及びその保護者からの相談に対し、身体状況や環境等に応じて、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

また、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとびあ及びふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、障害者就労支援センターを含めた合同会議を開催し、講師を招いての研修会には周辺4市の事業所にも参加を呼びかけ、各関係機関との関係構築と連携強化を図りました。

	身体	知的	精神	高次脳機能	障害児	計
令和元年度契約者数	12人	52人	4人	1人	25人	94人
平成30年度契約者数	9人	43人	0人	0人	17人	69人
支援内容	◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇福祉についての情報提供、総合的相談 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明、紹介、仲介 ◇福祉事務所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携 ◇権利擁護に関する支援等					

10. その他社協関連事業

(1) 埼玉県共同募金会朝霞市支会の事務局（関連2ページ参照）

◇支会理事会の開催

- 令和元年6月5日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席数11人(監事2人含む)
 - ・平成30年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業報告について
 - ・平成30年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支について
- 令和元年8月27日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席数9人(監事2人含む)
 - ・第28期社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会支会長の選任について
 - ・第28期社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会副支会長の選任について
 - ・令和元年度共同募金運動の実施について
- 令和2年3月16日（同意書による決議の省略）
 - ・令和2年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業計画について
 - ・令和2年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支予算について
 - ・第28期社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会理事の選任について

◇赤い羽根共同募金運動説明会

- 対象者：自治会・町内会長
- 期 日：令和元年9月18日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター会議室

◇赤い羽根共同募金

○強調月間：10月1日～10月31日

○目標額：7,310,000円（平成30年度目標額：8,000,000円）

○実績額：6,740,397円（平成30年度実績額：6,952,127円）

※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

◇地域歳末たすけあい募金

○期間：11月20日～3月31日

○目標額：4,645,000円（平成30年度目標額：4,845,000円）

○実績額：4,467,402円（平成30年度実績額：4,650,989円）

※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

(2) 日本赤十字社埼玉県支部朝霞市地区の事務局

◇日赤会員会費募集説明会

○対象者：自治会・町内会長

○期日：平成31年4月17日

○場所：朝霞市総合福祉センター会議室

◇会員会費募集

○強調月間：5月1日～5月31日

○目標額：8,149,400円（平成30年度目標額：8,149,400円）

○実績額：5,750,747円（平成30年度実績額：5,844,167円）

※ご協力いただいた会費は、全額、日本赤十字社埼玉県支部へ送金しました。